

被害にあった時、貴方を助ける組織がある。
下記の委員会の住所へ連絡してください。

Addresses in the Netherlands where you can seek help:

Dutch Foundation of Religious Against Trafficking in Women

Sint Janssingel 92
NL 5211 DA Den Bosch
The Netherlands (Holland)
Tel : +31-73 - 615 44 44
Fax: +31-73 - 615 44 49
E-mail: srtv@srtv.info
BankGiro no 420557



*Dutch Foundation
Of Religious
Against
Trafficking in Women*



Japan

女性に警告！

誰があなたに約束したの？
ヨーロッパに行けば、
より良い暮らしができるって？

Address in Germany, where you can seek help:

Solwodi (Solidarity with women in distress)

Probstei-Strasse.2
D-54154 Boppard Hirzenach,
Germany
Tel.+49-67 41 22 32 Fax: +49-67412310
E-mail: solwodi@t-online.de
<http://www.solwodi.de>

ヨーロッパは天国？



Address in your own country, where you can seek help:

話のすべてを信じるな！



この広告は北西ヨーロッパに移住する際に巻き込まれる危険性のあることを告げることを意味する。

こんなことを知っていますか。。

貴方のように夢を持っている女性が多くいました。

マリア (Maria)

マリアは、彼女の子供と両親を養うため、仕事をしなければならなかったが、仕事が見つからなかった。彼女は、何の希望も持てなかった。彼女が思うことは、貧乏ということだけであった。彼女は、チャンスを得て、ある代理店と契約を交わした。代理店は、彼女にヨーロッパで文化的ダンサーとしての仕事を約束した。彼女がオランダに着いた時、彼女の夢はゴミとなって打ち砕かれた。そんな仕事は、存在せず、彼女はナイトクラブで売春を強要させられた。

テレサ (Theresa)

テレサは金持ちの外国人の夫を見つけるという望みを持って文通クラブに入会した。彼女の文通相手は、彼女をドイツに招いた。それは正に彼女が望んでいたことだった。しかし彼女がドイツに着いた時、彼女はとても落胆させられた。彼女の未来の夫は大層豹変しただけでなくアルコール中毒で彼女を叩いてばかりだった。

リタ (Lita)

ベルギーの旅行者は、リタに彼のホテルの秘書の仕事を約束した。しかし彼女が着いた時、彼は彼女のパスポートを取り上げ、彼女を売春婦にした。

他に数えきれないほどの女性が貴方と似たような話をしています。

このフォルダを貴方にくれた人から情報を得て助けを求めなさい！

なぜこんな警告を！

北西ヨーロッパでは、私たちは海外からきた多くの不幸な少女たちや女性たちに出会うからです。彼女たちは次のようなことを約束されています。

- ・楽しい仕事
- ・高給
- ・幸せな結婚
- ・等等

だから、彼女たちは、短期間で金持ちになって、貧しい親類を助けるために自分たちの国に帰ることが出来ると信じてしまうのです。

しかし現実はどうでしょう？

1. 高い失業率、それがゆえに貴方にとって良い仕事を得るのは難しいのです。
2. 仕事の許可書、居住、或いは入国許可書が必要とするのです。
3. 貴方のような多くの女性たちにとってそうした仕事には給料が払わないどころか、しばしば売春で終わってしまう。
4. 美しい約束は偽りであり、持続しません。気を付けなさい！



あなたの公式文書が正しいものかどうかを確かめなさい！

それでもまだ貴方が行こうと決意するなら。。

1. 貴方を雇う人々の名前と住所を確かめなさい。それ等が合法かどうかを調べなさい。
2. 目的地の国の大使館に問い合わせなさい。貴方の未来の雇い主が存在するかどうか、彼が信頼出来るかどうかを尋ねなさい。
3. 移住労働者のために働いている貴方の国の団体や協会に問い合わせなさい。出来るだけ多くの情報を得なさい。貴方が戻って来る時助けが必要になるからです。
4. 家族や友人に出発日や行き先の住所、貴方が共に旅行する団体や人々の名前を報告しなさい。貴方の最近の写真も渡しておきなさい。
5. 貴方がトラブルに有ったら弁護士に相談しなさい。貴方にはそうする権利があるのです。

貴方のパスポートは貴方のものです！

パスポートを決して誰にも渡してしてはいけません！